

< 概要 >

- 高台原子炉注水用バッファタンクエリアの堰内に溜まった雨水を仮設ポンプにて当該バッファタンク内に移送していたところ、移送配管の接続部より漏水していることを、当社社員が監視用カメラ映像で確認。漏えいした水は、コンクリート面に土のうを積んだエリアに溜まっている
- 時系列
 - 2月15日 11:30 ~ 雨水移送開始
 - 12:45頃 移送配管の接続部より漏えいを確認
 - 12:59 移送ポンプを停止、漏えい停止
- 漏えい量：約 1.7 m³
- 原因：調査中
- バッファタンクエリア堰内水（漏えい水）の分析結果は、2月11日に採取した当該堰内水分析結果と有意な変化がなかったことから、当該堰内水（漏えい水）は雨水であると判断
 - 【バッファタンクエリア堰内水分析結果（2月15日採取）】 []内は2月11日採取の結果
 - ・セシウム134 : 23 Bq/L [20 Bq/L]
 - ・セシウム137 : 77 Bq/L [46 Bq/L]
 - ・ストロンチウム90 : 11 Bq/L [19 Bq/L]（簡易測定法により計測）
- バッファタンク水位は、有意な変化がなかったことから、タンクの水が当該堰内に漏れた可能性はないと考えている

漏えい箇所概略位置図

